

羅針盤

らしんばん No.5 平成25年8月26日

3年生就職希望者は、いよいよ就職試験が始まります。夏休み前から夏休み中にかけて、本格的に面接指導が始まり、少しずつではありますが、「らしく」なりつつあります。第4回の面接指導はもちろんですが、個人練習にも積極的に取り組み、就職試験に臨んでほしいと思います。

四つの壁についてお話しします。四つの壁とは、アメリカの心理学者アルバート・メラビアンが行った研究についての俗流解釈から生まれた言葉です。この解釈によると、人が他人を受け入れるまでには、次の四つの壁があるそうです。

- 第一の壁…外見・服装・表情
- 第二の壁…態度・姿勢・しぐさ
- 第三の壁…話し方・声の大きさ・抑揚
- 第四の壁…話の内容

ここで興味深いのは、第一の壁で55パーセントが判断されて、第四の壁に至っては7%しか判断基準になっていないことです。「人は見た目では判断してはいけない」、誰でも一度は耳にした言葉だと思います。ただ、裏を返せば、判断してはいけないとしながら、それだけ人は見た目では判断する（される）ものだと考えることができます。

思い出してください。1回目の面接指導の時、何から指導されましたか？まず、服装や頭髪等の身だしなみの再チェックから始まりました。次に、入退室の仕方・礼の仕方等の基本的な挙措動作の確認を行いました。これらはまさに、君たちが第一、第二の壁を越えるために行っていたのです。しかし、面接指導を受けただけで、試験の時に改めただけでこの壁を越えることができるとは思いません。それは、君たちが対面する面接試験の担当者は、（おそらく）一般の人よりもこの第一、第二の壁の判断精度を高く備えていると考えられるからです。

とするならば、第一、第二の壁を越えるためには、毎日の生活をいかに高い自覚を持って過ごせるかに尽きると思います。試験が目前に迫った3年生就職希望者はもちろんのこと、進学希望者、1・2年生も自分自身のことだと考えてこの文章を読み、行動に移してほしいと思います。

8・9月の進路行事

- 9（月）～ 面接指導（就職希望者）
- 10（火） 2学期補習開始
- 11（木）～ 指定校希望者三者懇談
- 13（金） 小論文模試（3年生）
- 24（火） 高大連携②
- 25（水）～ 面接指導（進学希望者）

インターンシップを終えて

7/30（火）～8/9（金）の期間でインターンシップを実施しました。以下は参加者の感想です。

【感想】

○自分が将来進みたい介護施設でインターンシップが経験できて勉強になることがたくさんありました。利用者さんとコミュニケーションを図ることは難しかったけれど、やりとりができたり、「ありがとう」と言ってくださったりするとうれしかったです。職員の方からたくさんのアドバイスを受けたので、今後の進路選択につなげられたらいいと思いました。

○初日は緊張して指示されたことも満足にできない状態でしたが、2日目からは質問することもでき、任せられた仕事をしっかりとこなすことができました。短い期間でしたが、楽しかったし、大きな達成感を感じることができました。

工場見学を終えて

8/5（月）に1、2年生14名が参加し、工場見学に行きました。見学先は大阪シーリング印刷（株）大垣第一工場と（株）エフピコ中部リサイクル工場でした。施設見学だけでなく、企業の方から直接お話を伺うこともでき、有意義な時間を過ごすことができました。以下は参加者の感想です。

【感想】

大阪シーリング印刷株式会社

○私たちがよく見るシールばかりあったので、とても身近に感じました。一人で一台の機械を任されて作業をしていました。大変だと思いました。やりがいのある仕事だとも思いました。社員の方々は私たちに対しても挨拶を必ずされていたので、改めて挨拶は大切だと思いました。

エフピコ株式会社中部リサイクル工場

○リサイクルは良いことだと思っていたけれど、自分たちにできることは何なのかよく分かっていませんでした。しかし、今回の工場見学で、自分たちは何ができるのかが分かったし、私たちの行動があって水平リサイクルが成立するのだと思いました。地上資源を国内循環できるよう貢献したいと思いました。